

令和3年 決算特別委員会 総括質疑 開催状況
(経済部環境・エネルギー局環境・エネルギー課)

開催年月日 令和3年11月12日

質問者 日本共産党 宮川 潤 委員

答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>二 気候変動対策について</p> <p>(二) 一 再 COP26について (宮川委員) 注視ということですが、議長国イギリスが提案している2030年度までの石炭火発ゼロについて、各国賛同しております。道は2030年までに石炭火発ゼロを目指しますか。お考えを伺います。</p> <p>(二) 一 再々 COP26について (宮川委員) 2030年までの石炭火発について伺いましたが、それでは、2050年までに再生可能エネルギー100パーセント目指すというお考えがありますか。ぜひロードマップも示すべきだと考えますが、お考えを伺います。</p> <p>【指摘事項】 (宮川委員) 再生可能エネルギー100パーセントをぜひ目指すべきだと指摘しておきます。</p>	<p>(知事) 石炭火力発電所についてであります。電力は、安全性を前提に、安定供給、経済効率性、環境への適合を基本的視点として、変化にも柔軟に対応できるよう、多様な構成とすることが重要でございます。</p> <p>国では、2030年度における電源構成として、石炭火力は19パーセント程度を見込んでおります。道としては、道内に賦存する石炭は、貴重なエネルギー資源であり、環境負荷の一層の低減を図りながら、有効に活用していくことが重要だと考えています。</p> <p>(知事) 再生可能エネルギーについてでございますけれども、道といたしましては2030年までを計画期間といたします。省エネ・新エネ促進行動計画、こちらに基づいて、本道に豊富に賦存する新エネルギー、こちらを最大限活用して主要なエネルギー源の一つとなるように努めてまいりて考えてございます。ご質問にございました、2050年度までに向けましても主力電源となるように取組を進めてまいりたいと考えております。</p>